

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道303号 <small>かわかみ はっそう</small> 川上・八草バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 岐阜県
起終点 自：岐阜県揖斐郡坂内村広瀬 至：岐阜県揖斐郡坂内村川上	延長 9.9 km	
事業概要 一般国道303号は岐阜県岐阜市を起点とし、福井県遠敷郡上中町に至る延長約105kmの幹線道路である。川上・八草バイパスは隘路、線形不良区間の解消を図るとともに、冬期通行不能区間の解消を目的とした9.9kmの2車線道路である。		
S61年度事業化	都市計画決定なし	S62年度用地着手
S63年度工事着手		
全体事業費	148億円	事業進捗率 90%
計画交通量	1,000台/日	供用済延長 6.3km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 6.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 18/73億円 事業費：18/68億円 維持管理費：5/5億円
	総便益 (残事業)/(事業全体) 110/110億円 走行時間短縮便益：109/109億円 走行費用減少便益：2/2億円 交通事故減少便益：-1/-1億円	基準年 平成15年
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（現道等の冬期通行障害区間を解消する） 他5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 一般国道303号は幹線道路であるにもかかわらず隘路、線形不良区間が点在しており、冬期通行不能区間も存在するため、坂内村をはじめとする関係2町3村の首長で構成される国道303号改良整備促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 滋賀県境の八草トンネルが開通するなど、県境部における唯一の未改良区間となっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収はほぼ完了し、改良工事を促進している。現在までに6.3kmを部分供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部において用地補償協議が難航し、工事着手までに長時間を要したが、滋賀県側の改良計画と調整の上、早期完成を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 歩道幅員の見直し、掘削土の有効利用によるコストの縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
<p style="text-align: center;">川上・八草バイパス L=9.9km</p>		

事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。